

No.216
2026年8月1日
滋賀県竜王町議会

りゅうおう

議会だより

ヘルメットで守る
≡ 笑顔と未来 //



巻頭特集 議会報告会 開催！

- 定例会報告 P5～ 新竜王小学校、いよいよ開校へ
- 委員会報告 P7～ 学童保育所の指定管理者決まる
- 一般質問 P9～ 中心核を含む公共施設整備と財政計画の見通しは

6月
定例会

議会報告会2026開催

令和8年5月22日（金）と23日（土）の二日間、竜王町公民館にて議会報告会2026を開催しました。二日間で延べ40名の参加を頂き、一部の報告会および二部の懇談会ではテーマ毎に活発な意見交換ができたと思います。

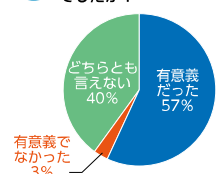
参加して頂いた町民の皆様、ありがとうございました。
皆様から頂戴した貴重なご意見は今後の議会活動に活かさせていただきます。



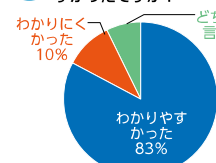
活発な意見交換が行われました！

議会報告会のアンケート結果

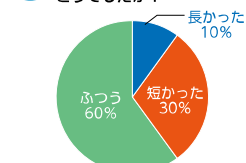
Q1 報告会の第1部は有意義でしたか？



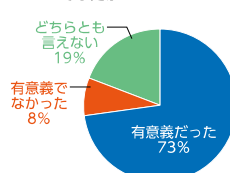
Q2 第1部の内容はわかりやすかったですか？



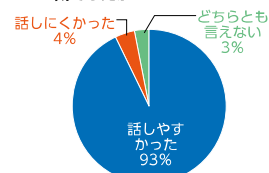
Q3 第1部の時間設定はどうでしたか？



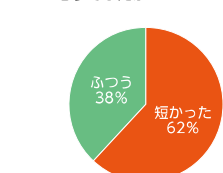
Q4 報告会の第2部は有意義でしたか？



Q5 第2部は話しやすい雰囲気でしたか？

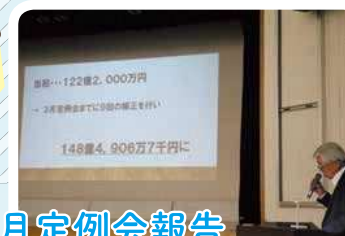


Q6 第2部の時間設定はどうでしたか？



いただいた御意見・御提案は、今後の議会活動の参考にさせていただきます！

当日のようす



3月定例会報告

議会とは？



竜王町の未来について
語りました



さらに便利な
竜王町へ



「議会の見える化」への
第一歩！



たくさんのご参加
ありがとうございました！



定例会のあらまし

～議案を原案のとおり可決・承認・同意しました～

令和8年第2回定例会は、6月2日から6月24日までの23日間の会期で開催されました。

町政運営に関わる条例改正や補正予算などについて慎重に審議を行い、提出された議案を議決しました。

また、一般質問では、町民の生活に関わる様々な課題について11議員が町政をいただきました。

これからも町民の皆さまの声を町政へ届け議会として責任ある審議を進めてまいります。



議案一覧と審議結果



「専決処分」につき承認を求めることについて

(竜王町税条例の一部を改正する条例)

地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行ったため、専決処分したことについて承認を求めるものです。

承認



「専決処分」につき承認を求めることについて

(竜王町国民健康保険条例の一部を改正する条例)

国民健康保険制度の改正に伴い、所要の改正を行ったため、専決処分したことについて承認を求めるものです。

承認



「竜王町立学校の設置等に関する条例」の一部を改正する条例

竜王小学校の新設に伴う位置の変更を行うものです。

可決



「竜王町学童保育所の設置および管理に関する条例」の一部を改正する条例

竜王小学校区学童保育所新設に伴う位置の変更を行うものです。

可決



「竜王町消防団員等公務災害補償条例」の一部を改正する条例

消防団員等の公務災害補償に関する制度改正に伴い、所要の改正を行うものです。

可決

補償基礎額の改正内容

消防団員等が公務災害を受けた際の補償基礎額を改定します。

旧条例

315,000円



新条例

330,000円

専決処分とは？

緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がない場合などに、町長が議会に代わって意思決定を行うことができる制度です。次の議会で、その内容を報告し、承認を求めることになります。



町民の皆さんのご意見・ご感想

- ・聴くだけでなく意見を話せる場があり、来て良かったと思えました。
- ・時間の制約があり、話が深められなかったのは残念。
- ・難しいとは思いますが、参加者も多くはならないだろうけど、何回か開催して欲しい。
- ・ワールドカフェ方式の懇談会で話しやすかった。
- ・1部、2部ともに時間が短く、言いたいことが十分言えなかった。
- ・町公民館だけでなく、ブロック毎に出向く方が参加者も増えるかも。
- ・自治会長にノルマをお願いしても良いかと。参加してくれなければ始まらない。
- ・次回は議会を傍聴するなど、自分自身に興味を持つようにしたいと思った。
- ・議員のなり手不足については、報酬を上げて定数を減らすのはどうか。
- ・報告会も良いが、YouTubeやX、Instagram等で「はじめすぎない」発信の方が効果大では。



懇談会の総括

『地域活性化について』

(1) 町の魅力づくり

- ①若者に住んでもらえる住宅建設
- ②公共交通機関の整備
- ③妹背の里を多世代が集える施設に
- ④町内2か所の道の駅の整備と活用
- ⑤果樹の町「竜王町」を前面に
- ⑥ふるさと納税の維持継続を

(2) 地域の課題

- ①工場（企業）誘致
- ②市街化調整区域の壁
- ③空き家問題
- ④住宅リフォーム補助金が少ない
- ⑤税金が高い
- ⑥自治会の維持困難
- ⑦中心核整備にお金を使わず

(3) 農業の課題

- ①農業後継者不足
- ②高齢化等で維持困難
- ③全面的に将来不安



『子育て・高齢者施策について』

(1) 子育て関係

- ①修学旅行への費用支援を
- ②竜小と西小の統合を
- ③こども園の保護者負担軽減を
- ④父親の育休取得の推進
- ⑤独自の子育て支援が少ない
- ⑥熱中症対策でスクールバス増便は
- ⑦学力の見える化を
- ⑧スマホの適正使用の指導を

(2) 高齢者関係

- ①介護施設の充実を
- ②見守り必要な方の把握を
- ③独居高齢者の見守りを地域ぐるみで
- ④見守りのあり方を熟考すべき
- ⑤地域の繋がり希薄化を是正を
- ⑥免許返納者に対する支援を



『地域公共交通について』

- ①自動運転を
- ②チョイソコの改善を
- ③免許返納者に対する支援を
- ④スマイルの障がい者限定を解除しては
- ⑤セニアカーへの補助を
- ⑥バスの定期補助があってもそもそも定期代が高い

『議会の見える化について』

(1) 議員のなり手不足・報酬

- ①議員報酬が低い
- ②公費負担をPRする仕組みづくり
- ③議員報酬を上げて定数を削減すべき
- ④議員なりにもっと住民の意見を聞くべき

(3) 町政・予算・行政へのチェック機能

- ①AIの導入
- ②働く場所を増やす
- ③生産年齢人口の拡大
- ④増大する町の予算をもっとチェックすべき

(2) 議会・議員活動の見える化

- ①広報やSNSでもっとPRすべき
- ②情報発信が必要
- ③議会だよりの内容の見直し

(4) 町の魅力・地域づくり

- ①町内に住む場所が少ない
- ②窓口対応の職員の知識不足
- ③職員の窓口対応が町の印象を左右する

総務産業建設常任委員会

指定管理者の指定につき議決を求めることについて

町内の公の施設2か所の指定管理者について、管理業務の範囲及び具体的内容、指定管理者候補者選定までの経過について、資料に基づき説明を受けた。

竜王小学校区学童保育所、竜王西小学校区学童保育所の指定管理者に、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社を指定し、指定期間は令和8年9月1日から令和13年3月31日までとなる。

主な質疑応答

- 問 選定業者の決定にあたっては、どのような点が評価として高かったのか。
- 答 子どもの自己肯定感を育む事業や子どもの主体性を育む事業、保護者と職員をつなぐ連絡帳アプリなど、独自性のある取組を積極的に実施している点が高く評価された。
- 問 現事業者から変わるため引継ぎが必要となるが、具体的にどうしていくのか。
- 答 スムーズに移行できるよう保護者説明会を行い、選定業者から変更点や専用アプリの使用方法を丁寧に説明する予定である。



観光資源の活用について

1 「竜王観光」の現状について

「緑と文化のまち」を象徴する地域の自然環境、歴史文化、季節の農産物など「竜王らしさ」を前面に出した観光振興を図っている。

◆主要観光地の年間入込客数（令和7年実績）

- 道の駅アグリパーク竜王：約56万人
- 道の駅竜王かがみの里：約54万人
- 地域に根差した多様な観光スポット
苗村神社：約3万人、妹背の里：約1万7千人、
ドラゴンハット：約8千人

◆四季折々の地域資源：春の桜や花桃、夏のフルーツ狩り、
鮎寿司漬け込み体験等

◆広域観光の重要性

JRグループ6社と自治体が共同で全国から誘客を図る観光キャンペーン等、広域観光の連携にも重点を置いて取り組む。

2 今後の観光資源の活用について

本町では2つの道の駅が直売の域を超え、国土交通省が推進する「道の駅第3ステージ構想（地方創生・観光の拠点化）」の実現に向けて、「自ら稼ぐための新たな観光資源の開発」への挑戦を始めている。



主な質疑応答

- 問 本町の現状は滞在型観光とはあまり言えないと思うが、その拠点ともなるホテル誘致に向けたその後の経過を伺う。
- 答 町としては、宿泊施設がない町であるので、滞在型観光を進めていくうえでホテルの計画は必ず実現してほしいと考えている。計画事業者からは、秋をめどに結論を出すと言っている状況である。ホテルができると道の駅アグリパーク竜王を中心に滞在型観光が広がると考えている。

議案一覧と審議結果



「令和8年度竜王町一般会計補正予算」（第1号）

令和8年度当初予算 99億9,000万円に、新小学校建設工事など 4,712万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を100億3,712万7千円とするものです。

可決



「令和8年度竜王町国民健康保険事業特別会計」（事業勘定）

令和8年度当初予算 11億9,970万円に、軽減に係るシステム改修に伴う 396万円を追加し、歳入歳出予算総額を12億366万円とするものです。

可決



「指定管理者の指定につき議決を求めること」について

学童保育所の管理運営を行う指定管理者を指定するものです（P.7参照）

可決



「竜王町職員懲戒審査委員会委員の選任」について

竜王町職員懲戒審査委員会委員の選任について、議会の同意を求めるものです。

同意

農業委員会委員の任命に関する議案



任命される委員数	27名
任期	令和8年7月20日から令和11年7月19日まで（3年間）
主な役割	農地の権利移動や転用の許可、遊休農地の発生防止・解消 農業者からの相談対応などを行います。

同意

動産の取得に関する議案

「竜王小学校管理備品（電子黒板）」

取得内容

- 電子黒板 16台
- 電子黒板スタンド 16台

契約金額 8,030,000円



「児童・生徒用端末および付属備品」

取得内容

- iPad 1,000台
- キーボードケース 1,000台
- タッチペン 1,000本
- ヘッドセット 120個
- 初期設定等 1,000式

契約金額 73,385,400円



可決

議会で決しました

中東情勢の平和的解決と
物価高対策を求める決議



拉致問題への理解促進と
啓発を推進する決議



町政 ここを問う!

6月定例会では11議員が25問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

ページ	質問者	質問事項
10	鎌田勝治	・放課後等サービスの今後は ・外部委託費の可視化と最適化を
11	大橋裕子	・放課後児童クラブ、兄弟割引制度等の導入は ・鏡山、鳴谷池の東屋と星ヶ峯の観光案内板は ※ナフサ供給不足による私たちの生活は
12	小西久次	・竜王町未来へつなぐまちづくり交付金の検討を ・選挙への関心を上げるための検討は
13	三宅政仁	・新小学校、学校体育環境の安全管理は
	磯部俊男	・健康、安心、暮らしを守る介護保険事業を
14	中村匡希	・財政の見直しは ・ふるさと納税寄附金の使途は
15	橘せつ子	・祖父川上流の定期的なPFAS調査を ・中心核を含む公共施設整備と財政計画の見直しは ※これからの竜王町の介護事業は ※学童保育所の指定管理のあり方は ※企業誘致の進捗と住民への周知は
16	森島芳男	・竜王町公民館の今後は ・道路ネットワークの強化を
17	内山英作	・重層的支援体制事業の進捗状況は ・地域共生社会の実現をめざして
18	山田義明	・「山之上信号交差点」の安全性向上を ・「健康づくりのまち竜王町」を目指して
19	若井政彦	・安全・安心のまちづくりへ防犯カメラの設置は ・中心核整備「複合ゾーン」どうするの ※憲法をくらしに！平和行政の具現化を

※紙面の都合上、掲載しておりません。
QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

次回の一般質問は
令和8年9月24日(木)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問い合わせ 議会事務局 電話 0748-58-3713

各議員のQRコードを
スマートフォンで読み
取ると音声配信が聴けるよ



近江うし丸

教育民生常任委員会

調査 竜王中学校部活動の地域展開について

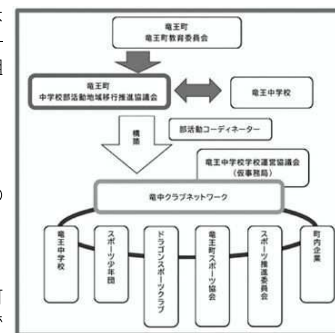
少子化に伴い学校規模が小さくなる中、一つの学校単位ではチームスポーツなどが十分にできなくなる。国は生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を地域全体で支える仕組みである、「地域展開」を推進している。

＜竜王町の現状と課題＞

- ◆竜王町においても、生徒数、教員数は減少傾向にある。
- ◆「竜王町部活動地域移行検討協議会」で検討。
- ◆現在は、学校主体および「地域連携型（教員と部活動指導員の指導）」で運営・指導を行っている。
- ◆近隣他市町との連携は地理的に難しい。

＜竜王町の今後の取組＞

- ◆部活動指導員や地域指導員を増やし、休日の部活動を対象に可能な種目から「地域展開（地域全体で支える・広げる）」ができるよう取り組む。



推進体制図

主な質疑応答

問 部活動指導員と地域指導員、外部指導員の違いは。また、指導員への謝金は。

答 部活動指導員は町が任命、地域指導員は学校が任命し、いずれも謝金を払っている。外部指導員はボランティアとなるので、謝金はない。

地域活性化特別委員会

調査 中心核（交流・文教ゾーン）の進捗について

中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗状況について説明を受けた後、開校・開所間近となった竜王小学校及び学童保育所を視察した。

- ◆竜王小学校・学童保育所は2学期より開校・開所となる。その他、令和8年度は、「歩行者専用道路照明設置工事」他7件について今年度内に発注予定である。
- ◆今後計画されている交流・文教ゾーン公園施設遊具設置工事については、公募型プロポーザル方式にて発注予定で、7月下旬にプレゼンテーション審査により決定される。



完成間近の新竜王小学校視察の様子

主な質疑応答

問 公園施設整備工事は令和8年8月発注とあるが完成はいつか。また、公園遊具のプレゼンテーション審査についての審査内容や審査員構成は。

答 公園施設整備工事は令和9年3月末完了を予定している。公園遊具のプレゼンテーション審査は、町が定めた金額の範囲内で、設置できる遊具や施工方法等を提案してもらい、総合的に判断する。審査員は、PTA会長をはじめ子どもと関わりのある方を中心とする。



おおしき ゆうこ
大橋 裕子 議員



問 放課後児童クラブ 兄弟割引制度の導入は

答 前向きに検討を重ねる

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
竜小児童数 (人)	383	380	371	341	314
西小児童数 (人)	261	247	220	200	187
合計児童数 (人)	644	627	591	541	501
学童保育利用者 (人)	198	201	236	225	228
学童保育利用率 (%)	30.7	32.1	39.9	41.5	45.5

学童保育利用者数の推移

問 竜王町には2つの学童保育所があり、228名の児童が入所（両小学校児童数の45%）している。兄弟で学童に入所する場合、近隣の学童では、二人目は半額等になる兄弟割引の減免制度があり、これは子育て世帯への負担軽減になる。竜王町においてもこの制度の導入を検討すべきでは。

答 利用料の割引制度は、兄弟割引、ひとり親割引、低所得世帯割引があり、竜王町ではひとり親割引に取り組んでいる。学童の兄弟割引制度は県内調査によると19市町のうち14市町においてこの制度を設けている。子育て世帯には有効な経済支援の一つであると認識しているため、今後導入に係る費用を検証し、前向きに検討を重ねていく。



修理が待たれる鳴谷池の東屋



星ヶ峰頂上からの大パノラマ

問 鏡山、鳴谷池の東屋と星ヶ峰 の観光案内板は

答 今後の施設のあり方も含めた検討を進める

問 鏡山の鳴谷池に休憩する東屋がある。数年前から屋根に穴があき、現在では左写真のように穴があいていて、安全面においても危険な状況である。今後この東屋をどのようにしていくのか。また星ヶ峰からの眺めは大パノラマが広がる。

答 歴史を物語る山々が見渡せる。山々の名前がわかる案内板を設置してはどうか。

問 鳴谷池の東屋は修繕を行うには資材搬入や施工方法等に大きな課題があり、施設の維持管理のあり方も含め検討を行う。

答 歴史を物語る山々が見渡せる。山々の名前がわかる案内板を設置してはどうか。

問 鳴谷池の東屋は修繕を行うには資材搬入や施工方法等に大きな課題があり、施設の維持管理のあり方も含め検討を行う。

答 歴史を物語る山々が見渡せる。山々の名前がわかる案内板を設置してはどうか。

問 放課後等デイサービスの 今後は

答 優良な事業者のサービスで障がい福祉サービス基盤の強化を図る



かまた かつし
勝田 勝治 議員



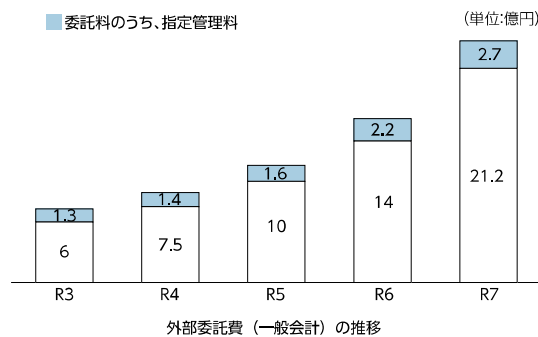
竜王西小学校区学童保育所空き室側入口の外観

問 放デイ事業を、今後も安定して継続的に実施する為に次の3点を伺う。
①現段階での具体的な候補地は。
②竜王西小学校区学童保育所の空き室も候補地の一つとなっているが、北部地域のコミュニティの拠点とする議論は。
③本事業の今後の方針は。

答 ①竜王西小学校区学童保育所の空き室も候補地の一つとなっているが、北部地域のコミュニティの拠点とする議論は。②竜王西小学校区学童保育所の空き室を、放課後等デイサービス事業での利用を優先して検討してきたが、深い議論には至らず。③民営民営を基本としながら、町有施設の賃貸での整備も念頭に検討する。今後も、民間事業者が本事業に参入しやすい環境を整え、本町の障がい福祉サービス基盤の強化に取組む。

問 表題の件で次の4点を伺う。
①本町の一般会計における外部委託費の令和6年度と令和7年度の年間総額は。
②委託の重複化や仕様の過大化を防ぐ為の具体的な対策は。
③職員の負担軽減・コスト削減効果の検証は。
④長期の委託業務について、仕様の検討や結果の検証は。

答 ①令和6年度16億2千万円、令和7年度23億9千万円。
②予算要求・査定時、また、発注段階において、委託の必要性、業務範囲、変更点等を確認し、事業目的に合致しているかを精査。
③コスト削減効果は未検証だが、様々な方策により業務の効率化やコスト削減に繋げている。
④長期に継続している委託業務も、同様に確認を行い、仕様や業務内容が前年踏襲にないよう次年度以降の見直しに繋げている。



問 外部委託費の可視化と最適化を 委託の目的と実績を照合しその効果 や課題を的確に把握する



みやけ まさと 三宅 政仁 議員



問 新小学校、学校体育環境の安全管理は

答 新校舎移転を機に更新を検討する



問 新しい小学校の建設に伴い、サッカーゴールやバレーボールの支柱など、児童が日常的に使用する体育備品については更新を行わず、現電王小学校で使用するものを移設すると説明を受けた。全国的にも老朽化した体育器具による事故が発生しており、学校現場の安全対策が重要であると考え、次の2点を伺う。

①本町として、現在使用予定の体育備品の安全点検はどのような行っているか。

②移設する備品も新校舎に合わせて更新するべきではないか。



老朽化したサッカーゴール（電王小学校）



答 ①学校保健安全法に基づき、毎月1回実施、目視や触診で点検し違和感や不具合を確認している。さらに、専門業者による点検を毎年実施しており、安全確保に努めている。

②今回の新校舎移転を機に、バレーボールの支柱については更新し、サッカーゴールについては更新を検討する。



いそべ としお 磯部 俊男 議員



問 健康・安心・暮らしを守る介護保険事業を

答 高齢化が進む中、認知症、独居高齢者への対応、取組みを進める



問 ①最近の要支援認定者、要介護認定者数の状況は。また第1号被保険者のうち認知症高齢者数は。第2号被保険者の年齢構成は。

②第1号被保険者の年齢構成は。

③町内のケアマネージャー数は。

答 ①令和8年5月末、要支援者数は173人、要介護認定者数は394人。

②65歳～74歳前期高齢者は53人、75歳～179人は85人以上322人。

③居宅介護支援事業所には16名、入居・入所・事業所には4名が勤務され、介護対応をされている。



こしひ きよひろ 小西 久次 議員



問 電王町未来へつなぐまちづくり交付金の検討を

答 次年度以降に向けた見直しに取り組む



舗装が待たれる里道

問 本交付金は、平成30年に窓口を集約・一元化し、各自治会にとっては分かりやすく他市町にない良い制度である。現在の利用実績はどうか。

また、法定外道路の改良・舗装は集落内の他事業との関係で、限度額では不足し何とかなできないかとの声を聞く。以前は検討するとのことであった。今年度見直し時期であるが、検討の見込みは。

答 3年間で地区が行う将来性を踏まえた取組みを、財政面で支援するものであり、多分野に多く活用されている。道路の補修、修繕については、令和6・7年度は3地区で実施された。里道の大規模な修繕は、現制度の限度額では対応が難しく認識している。今年度中に本交付金を里道修繕等に使用できる制度にするか、別の交付金を設けるか検討する。本交付金は多くの自治会で、毎年同じ経費に充当されている。将来を見据えた議論に至っていない地区もあるので、協働推進係を新設し自治会の将来性をバックアップする仕組みとなるようサポート体制をとる。

問 選挙への関心を上げるための検討は

答 住民生活に関わる重要なものなので分かりやすい啓発に努める

問 7月5日に滋賀県知事選挙が執行される。令和5年の町議会選挙は無投票であったが、令和元年は71%、令和6年の町長選挙は70%、2月の衆議院選挙は63%と高く、4月の県議会議員補欠選挙は過去最低の37%であった。今後、滋賀県議会議員・町議会議員・町長選挙が予定されている。いずれも重要な選挙であるため投票率の向上に向け検討が必要ではないか。



投票率の過半数を占める期日前投票所

答 本年4月の県議会議員補欠選挙は地域が限定されたことが要因であるが、低投票率となったことを重く受け止める。新有権者への啓発や学校と連携した若年層への啓発を含めた従来の取組継続の一方、今後は期日前投票の周知強化や情報提供に努める。

実を語り、選挙への関心につながる取組の検討を行う。

また、投票所の利用状況を確認しながら、投票の利便性と選挙事務の適正かつ効率的な執行の両面から町民の皆様が安心して投票できる環境づくりに努める。



橋 せつ子 議員



問 祖父川上流の定期的なPFAS調査を

答 県と協議し、連携した対応を検討する

採水場所	PFAS濃度 (ng/ℓ)		
	1月19日	2月6日	5月14日
祖父川上流(山中橋)	47.01	38.32	41.31
惣四郎川(南平橋)	20.55	-	-
祖父川下流(巡検橋)	23.06	-	-
足洗川(山面橋)	5.18	-	-
善光寺川(善光寺川橋)	12.02	-	-
茶釜川(荒太橋)	-	40.85	58.67
祖父川源流(祖父川橋)	-	-	38.02

PFAS調査の結果
(国の指針値: 50ng/ℓ)

問 町に対し河川上流調査や汚染源調査を求めているが、調査はしないと回答された。そこで本年1月に独自調査を行い、結果は左表の通りであった。次の点について伺う。

①県の基準値を超えている箇所もあり、町として祖父川上流の定期的な水質調査をするべきでは。

②湖南市に対し、茶釜川、祖父川源流の水質調査(工場排水、残土捨て場の排水調

答 ①令和6年度より実施のPFAS調査は、善光寺川、祖父川、中津井川の3河川が日野川A合流する地点でPFAS濃度状況を確認しており、今後も継続する。②独自調査の水質結果を県の担当部署へ提供し、広域的な対応が必要のため、県と協議した対応を検討する。

査等)を要請するべきでは。

答 ①予定の公共施設整備(交流・文教ゾーン含む)は、現時点で見込まれる主な事業費を財政シミュレーションに反映している。しかし

問 中東情勢の緊迫化等で物価上昇は著しく、町の公共施設整備に係る経費も増額ではと推察するが、次の点を伺う。

①今後予定されている施設整備は、財政計画上も問題なく進められるのか。

②学校給食センターは令和11年4月供用開始とされているが、前倒しは可能か。

③今夏も猛暑が予想されるが、中学校、西小学校体育館のエアコン設置はいつ頃か。

問 中心核を含む公共施設整備と財政計画の見通しは

答 持続可能な財政運営で整備を進める

問 中東情勢の緊迫化等で物価上昇は著しく、町の公共施設整備に係る経費も増額ではと推察するが、次の点を伺う。

①今後予定されている施設整備は、財政計画上も問題なく進められるのか。

②学校給食センターは令和11年4月供用開始の目標で、現在、事業方式の検討を進めている。

答 事業費や町負担の変動も想定され、財政シミュレーションを更新し、持続可能な財政運営で整備を進める。

③各体育館の空調設備は施設の長寿命化整備の中で進める方針だが、現在、両校ともトイレ改修工事を進めており、進捗を見て時期を見極めていく。



エアコン設置が待たれる竜王中学校体育館



中村 匡希 議員

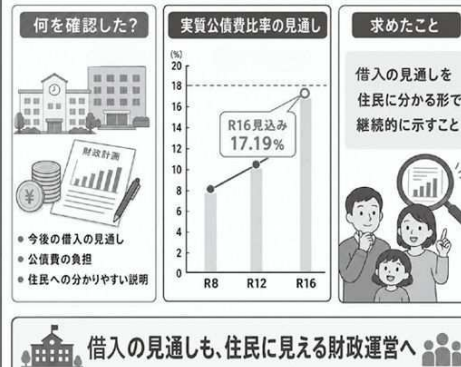


問 財政の見通しは

答 健全運営に努める

借入の見通しを見える化

一般質問：大型事業後の財政見通しを分かりやすく



問 大型事業により実質公債費比率が18%(地方債発行の許可団体となる基準)に近づく見通しである。中期的な財政見通しを住民に分かりやすく示すべきではないか。

答 大型事業に伴い、今後の公債費負担は増加の見込みである。地方債残高、実質公債費比率、金利動向、標準財政規模の推移を注視しながら、財政計画の検証と見直しを行い、健全な財政運営に努める。

その上で、住民の皆さまへ町の財政状況をホームページ等での公表についても検討を進める。

問 ふるさと納税寄附金の使途は

答 分かりやすく公表する

問 ふるさと納税の増加を踏まえ、寄附金の使途や効果をより分かりやすく示すべきではないか。

答 寄附金は基金に積み立て、子育て、教育、産業振興など町の施策に活用している。今後は、寄附金がどの事業に使われ、町の将来にどう生かされたのかを、寄附者や住民に分かりやすく示し、町の魅力向上につなげる。



ふるさと納税寄附金約22億円のうち近江牛関連の返礼品が88.7%を占める(令和7年度)

[illegible]

地域共生社会の実現 (第4章第1節)

地域福祉の推進 (第4章第2節)

地域生活課題の把握、連携による解決に向けた取り組み (第4章第3節)

包摂的な支援体制の整備 (第106条の3)

【全ての市町村に対する努力義務】

重層的支援体制整備事業 (第106条の4)

包摂的な支援体制整備事業とは、地域生活課題の把握、連携による解決に向けた取り組み、並びに、全ての市町村が、その地域の特性に応じた、包摂的な支援体制を整備することを目指すものである。

包摂的な支援体制とは、地域生活課題の把握、連携による解決に向けた取り組み、並びに、全ての市町村が、その地域の特性に応じた、包摂的な支援体制を整備することを目指すものである。

重層的支援体制整備事業とは、地域生活課題の把握、連携による解決に向けた取り組み、並びに、全ての市町村が、その地域の特性に応じた、包摂的な支援体制を整備することを目指すものである。

りゅうおう
議会だより No.216

A black and white photograph of a modern university building complex. The building features a mix of brick and light-colored panels, with numerous windows. A central courtyard contains a large, circular fountain with water spraying upwards. In the foreground, there are several large, rounded bushes and a paved area. The sky is clear and bright.

県道は
国土
新路線

佐賀県道路整備 アクションプログラム

2023

つぎはる
ひろがる

スマート
グリーン

快適な
サーフライ

行きたい
ところへ

佐賀県
道路整備

すべての人が安心して安全・快適に
移動できる道路整備を目指して



問 地域経済の活性化や安全・安心の向上のために渋滞の解消や安全な歩道づくりなど、既述の通り、既に実施されていること、また、今年度および令和9年度の2か年で策定すること、着実な更新を図る。かける。



わかひ まさひこ
若井 政彦 議員



問 安全・安心のまちづくりへ 防犯カメラの設置は

答 地域の目の及ばない場所に設置を検討



安全は点（灯）から線へ、線から面へ（上）
防犯灯設置が待たれる歩道（下）

問 安全・安心のまちづくりへ、次の点について伺う。
①現在、防犯灯や道路照明灯を設置すべきと考えている箇所はあるか。
②各地で発生した凶悪事件等で、防犯カメラが事件解決へ重要な役割を果たしているが、安全・安心のまちづくりの観点から、防犯カメラ設置の考えはあるのか。

答 ①防犯灯や道路照明灯は、地域要望や関係団体等との協議を基に、警察や道路管理者等との調整、協議により設置をしている。
②現在、町は学校周辺の主要道路や公共施設等に設置している。幹線道路等地域の目が及ばない場所に対して、警察とも協議しながら設置を検討してきた。

答 現段階では、具体的な青写真は示せないが、町の構想としては、飲食店、カフェ、バスロータリー等を集約し、にぎわいと交流を生み出すゾーンとして、民間主導で開発を進めたい。

次期都市計画見直し時に市街化区域編入を想定している。開発は5年以上先の見通しだが、事業



一刻も早い市街化区域編入が待たれる「複合ゾーン」（予定地）

問 中心核整備「複合ゾーン」
どうするの

答 民間開発主導でにぎわいと交流生み出す

者募集等進めておく必要がある。居住ゾーン整備が複合ゾーン整備の実現性を高めるものと考えている。

問 「山之上信号交差点」の 安全性向上を

答 関係機関と協議し
更なる安全対策に努める



やまだ よしあき
山田 義明 議員



トラブル発生が多い主要地方道「彦根八日市甲西線」
山之上交差点

問 「山之上信号交差点」は変則的な差路の交差点である。特に、湖南市方面から東近江市方面への通行時は、曲がり損ねて建屋や防護壁への衝突や人身事故もあった。
近年は東近江市方面から町道中央通り線への右折車も増え、変則的な右折溜まりでのトラブル発生も多いが、その対応は。

答 当該交差点については、過年度に地元自治会より安全対策の要望をいただいた経緯があり、道路管理者である東近江市土木事務所等関係者と現地立ち会いを行い、車止めや路面標示等の対策を講じてきたが、交通状況等が変化していることから関係機関と改めて協議し、更なる安全対策に努める。

答 健康上の問題で日常生活が制限されずに生活できる「健康寿命」を延ばすには、若いうちからの健康づくりの取組が不可欠である。
本町では、「りゅうおう健康プラン」に基づき、「りゅうおう健康ベジータレンジ」で様々な施策を展開している。
また、「第2期竜王町スポーツ推進計画」で気

問 全国的に平均寿命が延び、若い頃からの健康づくりが重要である。
我が町は車の生活に馴染み過ぎ、都会の人以上に歩けないのではないかと危惧し、生涯この町で歩いて暮らしが出来る「健康づくりのまち竜王町」宣言を目指しては。

軽に参加できる事業やウォーキングの推進を行っている。これらにより「健康づくりのまち宣言」と同様の目的を達成するものと認識している。



散歩から始める健康づくり

問 「健康づくりのまち竜王町」
を目指して

答 町の環境を活かした健康づくりを推進



西川

西川は現在94世帯で、小学生は8名まで減少しています。その中でも郷土文化の伝承として、総さなぶり、虫送り、千燈祭など行っています。いろんな組織が解散する中、65歳以上を対象に自由に活動するチームが出来たり、子どもの居場所づくりや、大人の居場所の居酒屋、福祉では幼児から高齢者を対象とした活動も活発に行われています。



村地信彦さん

自治会館を活動の拠点にして、子どもたちが集まる日や高齢者を対象にした活動、気軽に飲んで話ができる「居酒屋おいで」、盛りだくさんのメニューで賑わう「区民フェスティバル」など、多くの活動が活発に繰り広げられています。また、古くから伝わる郷土文化の伝承を大切に、子どもたちと一緒に虫送りや千燈祭など、多世代が集う行事が今も引き継がれています。



竜王町



おいでキッズ



7月 虫送り



9月 千燈祭



6月 お地蔵さんの前掛け作り
ブギウギ チーム



10月 区民フェスティバル
(展示)



10月 区民フェスティバル
(メダカすくい)

編集後記

厳しい暑さが続く季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

6月定例会では、令和8年度補正予算をはじめ、町民生活に関わるさまざまな議案について慎重に審議を行いました。また、一般質問では、町民の皆さまの声や地域課題について執行部と議論を重ねました。

また、5月に開催した「議会報告会2026」では、多くの皆さまにご参加いただき、貴重なご意見やご提案をいただきました。いただいた声を今後の議会活動につなげ、より身近で開かれた議会を目指してまいります。

広報委員会では、紙面づくりのレベルアップを目指して研修会への参加を予定しています。議会だよりを通じて、議会活動に関心を持っていただければ幸いです。

末尾になりますが、お盆の帰省やご家族との団らんなど、皆さまにとって心温まるひとときとなりますことをお祈り申し上げます。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 三宅 政仁 |
| 副委員長 | 鎌田 勝治 |
| 委員 | 若井 政彦 |
| 委員 | 小西 久次 |
| 委員 | 森島 芳男 |
| 委員 | 山田 義明 |

